



漁協通信

第 16 号

H25. 9. 13 発行



(携帯サイト)

大井川(非)漁業協同組合

島田市中溝 4 丁目 2-5

TEL (0547) 37-3048

テレホンサービス (釣り情報)

(0547) 32-9240

大型鮎、川面に踊る

「全長 27 cm！」計量係の声も思わず大きくなり、僅差の大物が出るたびに歓声が挙がりました。

8 月下旬に本流で 41 名が釣果を競った一般友釣り大会 (P.2) で見られた今年の好漁の 1 コマです。

初夏の解禁から早くも 4 カ月、不漁の長く続いた水辺に活気と釣り人の笑顔が戻ってきました。季節は秋を迎えましたが、大型鮎の好漁は勢いを駆って晩秋まで釣果が期待できそうです。



↑ 新東名橋上下流で開催した一般大会



一般大会で釣りあげた 26~27 cm の良型鮎

今年は歴代の最高気温を更新する異常なほどの酷暑でしたが、早い梅雨明けのなか大井川周辺は大きな災害もなく、川相の良い好ポイントが多く見られました。8 月初旬には平均釣果が 2 桁を数え始め、サイズは県内トップクラス、尺鮎も間近です。

かつてないビッグサイズの手ごたえに、仕掛けを取られたり竿を折ったり、なかには「魚焼きグリルに入らなくて怒られた」などのハプニングも続出しています。



大井川漁協、段突の団体優勝

県あゆ友釣り競技選手権大会

第 60 回を記念し 23 漁協が参加。興津川での熾烈な戦いを制した大井川漁協が、2 位に 300 g 近く大差をつけて栄冠を勝ち取り、大会通算 12 回目の輝かしい実績を収めました。

更に大会初出場の齋藤喜芳氏が 1 位と 2 g の僅差で個人準優勝と大健闘、来年に期待したいと思います。また酒井一氏も 5 位を占め、加えて大物賞 (69 g) も獲得し、底力を見せてくれました。

上位は次のとおりです。

<団体の部>

優勝：大井川 (1,269 g、34 尾) 2 位：阿多古川 (972 g、25 尾) 3 位：原野谷川 (895 g、25 尾)

<個人の部>

優勝：土屋仁 (狩野川、373 g、11 尾) 2 位：齋藤喜芳 (大井川、371 g、12 尾) 3 位：袴田雪仁 (原野谷川、359 g、10 尾) 4 位：山内昭明 (東伊豆、331 g) 5 位：酒井一 (大井川、327 g)

初陣を飾る



自信はありませんでしたが、良い体験をさせていただき、これからの糧になりました。皆様に感謝しています。(齋藤)